

平成 30 年度第 2 回高幡地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：平成 31 年 2 月 18 日（月） 13：30～16：00

場所：須崎市総合保健福祉センター 2 階 会議室

出席：委員 20 名中、13 名が出席（代理出席者なし）

議事：(1) 地域アクションプランについて

- 1) 高幡地域アクションプランの進捗状況等について
- 2) 平成 31 年度高幡地域アクションプラン（案）について

(2) 産業成長戦略について

- 1) 第 3 期産業振興計画 ver. 4 の改定のポイント（案）について
- 2) 移住促進分野の取り組みについて
- 3) 「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」について

議事 (1) (2) について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

(1) 地域アクションプランについて

（竹内委員）

オリンピックが開催される 2020 年には高度な衛生管理が求められる。既に高知県版 HACCP の認証制度を設けているところだが、産業振興推進部と保健所との連携はどうなっているか。

（橋田地域支援企画員（総括））

平成 28 年頃から県の地産地消・外商課が中心となって、地域本部や保健所とともに積極的に研修の受講やアドバイザー制度の活用を各事業所に促している。

第 1 ステージから 3 ステージまである県版 HACCP の認証を平成 31 年度中を目途に、できるだけ取得してもらいたいと考えている。

なお、産業振興計画に参画していただいている事業者の多くは、既に HACCP の認証取得に向けて取り組みを進めていただいている状況にある。

（楠瀬座長）

平成 31 年度は第 3 期産業振興計画の最終年度だが、「最終年度は特にこうする、またはこうしたい」という話はないか。第 4 期計画の方針も含めて補足してほしい。

（森田地域産業振興監）

地域アクションプランについては、基本的にエリア内の市町村の施策の取りまとめをしながら県として支援を行っている。市町村の担当部署と調整しながら、事業者がやりたいことを拾い上げていく。例えば、ICT 技術等を活用した取り組み等も今後は出てくると思う。

また、観光分野の取り組みについて、「志国高知 幕末維新博」は県として前面に出して取り組むのは 2 年間だが、地域会場がある梶原町や津野町の取り組みは、地域アクションプランに位置づけて、引き続き観光資源として活用していく。

来年度は第3期産業振興計画の最終年度になるので、来年度早々に第3期計画の総括の作業をすることになると思う。商工会や観光協会等、各関係団体の意見を聞きながら実績等の取りまとめを行うとともに、次期計画の策定を行う。各市町村の担当部署や各関係団体の協力を仰ぎつつ、進めていく。

(長山委員)

観光協会の取り組みについて、1件1件問い合わせないと何をやっているか分からない状態なので、情報が一元化されていると良い。

また、人材確保の問題になるが、求人に関する方法や経費などのデータを県が持っていると助かる。

(別府地域観光課企画監)

観光協会の業務が様々ある中で、まとまったデータは持っていない状況だが、今後データ収集や整理について検討したい。

また、人材確保について、現状では求人情報を持っていないが、離職率の高さや人手不足が問題になっているということは認識しているので、今後、現場の実態等を教えていただきたいと思う。

(門田地域観光課長補佐)

観光協会の施策の各団体への周知という意味で言うと、県内各6ブロックで広域の観光組織がある。この広域組織の情報共有の場を使って、情報共有ができる仕組みをつくる方法がないか検討する。

(吉良移住促進課長補佐)

高知求人ネットを全国向けに求人するための情報発信ツールとして使っていただいているところだが、来年は国の方針により、全国共通で求人フォーマットを定めて、地域と都市部のマッチングをする仕組みを構築する予定。仕組みが整い次第、登録へ協力いただくとともに、求人力アップセミナーなどへの参画もお願いしたい。

(2) 産業成長戦略について

(矢野委員)

人材不足が非常に切実な問題。移住には非常に期待しているが、移住希望者と接する機会が少ない。

(吉良移住促進課長補佐)

直接的に接するというのは難しいと思うが、地域でこういう方を求めているという熱や思いをどうやって届けるかを一緒に考えてもらいたい。高知求人ネットといった全国に情報が届きやすくなる仕組みや移住相談会、東京・大阪の常設の窓口の活用等をお願いしたい。

(田中委員)

中土佐町にしっかりした観光案内所がない。広域観光を目的として来る方が多いので、トータル的に説明できる窓口が観光施設・観光拠点にあるかどうかの方が大事になってくる。

(別府地域観光課企画監)

しっかりした観光案内所というと、高知駅前のとさてらす、空港の総合案内所、それと年度内にできると聞いている「れんけいこうち」でつくる観光案内所になる。

さらに、安芸の観光情報センター、幡多の四万十市観光案内所など、広域で取り組んでいるところを10カ所くらい整備する。また、道の駅や観光協会がやっている観光案内所もあるので、それぞれ役割分担や情報のキャッチボールがうまくいくようにしたい。

また、外国人対応ができていないところがあるので、県で支援制度を設け、翻訳システムや多言語パンフレットの整備を進めたい。

(以上)